

近年、若い有権者の投票率は、いずれの選挙においても他の世代に比べて低くなっており、早い段階から自分が社会の一員であり、主権者であるという自覚を持たせることが重要であると言われてしています。

そこで、この出前講座については、直接学校に出向いて児童に働きかけ、選挙の意義や重要性を学習してもらい、将来の有権者である児童の政治意識の向上を図ることを目的としています。

従来、出前講座については選挙管理委員会が主体となっていた行っていましたが、今年度は青年選挙サポーターの会「E-Rail さいたま」が企画から実施まで行いました。

